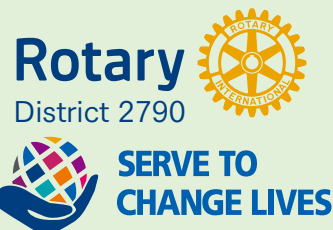


GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信 2022.1 Vol. 7

To Club Presidents and Secretaries in District 2790(CHIBA)

Copy for members



国際ロータリー第2790地区

ガバナー 梶原 等

地区スローガン

「Love Other Spirit」 ～繋ごう次世代へ 夢ある未来に向けて～



国際ロータリー第2790地区

2021-22年度 ガバナー 梶原 等 (千葉RC)

新年を迎えて

新年あけましておめでとうございます。

1月は職業奉仕月間です。ロータリークラブは他の奉仕団体と唯一違いがあるところが職業奉仕という概念です。皆さんはロータリークラブに入会をした頃職業奉仕について理解出来ましたか。

私は、先輩会員から職業奉仕とは“自らの職業を通じて社会に貢献する事”であると教えて頂きました。しかし今になって考えてみればそんなに簡単な意味ではありませんでした。

自分の職業を通じて社会に貢献する事、私は建築設計（建築の設備設計）が職業ですが果たして自分の行っている設計の仕事がどれだけ社会に奉仕（貢献）しているのか。こんな悩みを持ちました。私の事務所は公共関係の仕事が多いので、例えば学校や役所の庁舎の設計を行えばそれが作品となり地域社会に役に立ってもらえる。これが本当に奉仕なのかと疑問をもっていました。しかしその答えは年月を重ねるごとに少しずつわかり始めてきました。

例えば学校を設計します。その成果物を提供する先は発注者の官公庁ですが、その学校で学ぶ子供たちに向けて学習環境を創るお手伝いが出来た。これがもしかしたら地域社会に対しての奉仕なのかもしれないと思えるようにもなりました。また、設計をする中で学習環境を整えるために私達の技術をどれだけ注ぎ込めるのか、こんな事も奉仕の一環であると思えるようになりました。

しかしロータリーの言う職業奉仕はもっと奥が深いと思っています。

やがてクラブの例会や社会奉仕活動を行う事により多くのロータリアンから学ぶこと、気づかされる事が積み重なり、その様な機会から教授されることが自分の仕事にも生かされ、やがては自分自身が所属する業界の役職なども務めさせていただける様になり、業界を発展させ改めてその延長線上で社会に奉仕するという一つ上のステージにて実践することが出来るようになりました。

振り返りますと、自分自身を成長させて頂けたのはクラブの会員との交流であり、クラブでの社会奉仕活動や青少年奉仕活動です。又米山奨学生や財団奨学生の支援、そしてその先に繋がる国際奉仕活動などすべての事が影響しています。

よく考えてみればクラブでの例会参加、クラブ奉仕、社会奉仕等が職業奉仕に繋がっているという事になります。これこそ、他の奉仕団体とは少し意味合いの違いである職業奉仕の考え方が自分自身の仕事も含めすべての活動と行動に生かされているという事になります。その為にはクラブ奉仕も大きな原点です。

新年を迎えるにあたりクラブの運営も次年度へのバトンを渡すインターバルの時期に入ります。よくロータリーは単年度制だから事業が承継出来ないとか組織の運営が上手く続けられないという声を聴きますが、ロータリーは単年度であるという規定はどこにもありません。クラブのビジョンや中長期の計画を毎年継続されていると思います。

例会を含むクラブでの基本的な活動が職業奉仕という観点で自己の成長とクラブの繁栄に繋がりその先には、社会奉仕等を通じロータリーが目指すべく国際社会の平和の実現に向かっていくのだと思います。

私達ロータリアンは職業奉仕の理念を通じてSERVICEを実践しましょう。行動しましょう。“TAKE ACTION!” “奉仕しようみんなの人生を豊かにするために”



新年のご挨拶

国際ロータリー第 2790 地区
ガバナーエレクト

小倉 純夫 (松戸 RC)

新年 あけましておめでとうございます。

一昨年から続きました新型コロナウイルスの感染拡大によるパンデミックもここにきてようやく収束の兆しが見えてきました。思えばこの約 2 年間は、例会の開催もままならず、そのためロータリー活動も停滞してきました。コロナによって私たちの生活は一変してしまいました。これまでは当然と思っていたことが必ずしもそうではないことも分かりました。無くして初めてその大切さが分かったこともあります。それは、まさに皆が一堂に会して楽しむ例会です。

ロータリーは、何よりも、「人と人との繋がり」や「信頼関係」を大切にする活動ですので、コロナ前の日常

生活が一日も早く戻ることを願うばかりです。ここにきてコロナの感染者も急減していますが、まだまだ予断を許しません。そうは言っても新年を迎え、これからの例会の在り方や奉仕活動を考え、その準備を整えなければなりません。今年度 RI のテーマ「SERVE TO CHANGE LIVES ～奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」のテーマを推進し、ロータリーを前進させましょう。ロータリーは世界の動きや社会の変化に応じて活動内容や運営方法を変えていかなければなりません。しかし、その中でも変わらないものはロータリーの基本である「親睦」と「奉仕」です。私は 2022-23 年度の地区スローガンを「ロータリーを楽しみながら、地域で、そして世界でのよいことをしよう！」にしたいと考えています。地区内全クラブが元気なクラブ作りのため、この 1 年楽しい例会、ロータリー活動を目指して頑張りましょう。そして、ロータリーライフを楽しみましょう。

結びに、皆様そしてクラブにとって楽しい 1 年になりますよう心よりお祈り申し上げます。



新年のご挨拶

国際ロータリー第 2790 地区
ガバナーノミニー

鵜沢 和広 (千葉若潮 RC)

第 2790 地区の皆様へ新年のお慶びを申し上げます。昨年は新型コロナウイルスの蔓延により例会や奉仕事業・親睦事業の開催が思うようにいかず大変ご苦労された一年であったと思います。梶原ガバナー年度の地区大会もハイブリッドによる開催となり多くの会員が一同に会しての賑やかな開催とはなりませんでしたが主催した側の皆様のご努力により内容の濃いものとなりました。海外ではまだまだ厳しい状況が続いているようですが、日本ではだいぶ落ち着いて参りましたのでロータリー活動も本格的に再開出来そうな明るい兆しが見

えて参りました。2 月末からは小倉ガバナー年度に向けた 3 大セミナーが始まり皆さんのクラブでも次年度への準備がスタートします。どうか皆さんのクラブでもロータリーの中核的価値観でありますサービス・親睦・多様性・高潔性・リーダーシップの五つの要素を重視したクラブの戦略計画に基づいてクラブの方向性を決めてそれに邁進して頂きたいと思います。

さて、常に直面する会員増強の課題についてですが、現在の第 2790 地区の女性会員は 200 名余りで男性に対する比率は約 8% です。これを世界の平均である 22% にすることが出来れば地区の会員は 3000 名を回復します。現在の女性会員の多くが奉仕活動にロータリーの重点を置いているように女性会員を勧誘するには楽しくて有意義な奉仕活動を企画する事が不可欠です。皆さんのクラブが奉仕活動を活発に行い女性会員の増強に成功してより活性化される事をご期待申し上げ私からの新年の挨拶と致します。



新年のご挨拶

国際ロータリー第 2790 地区
ガバナーノミニー・デジグネート

寒郡 茂樹 (富里 RC)

第 2790 地区のロータリアンの皆様、あけましておめでとうございます。昨年の指名委員会において 2024-25 年度ガバナーにノミネートいただきました寒郡茂樹でございます。

2022 年は、唯一の立法機関である規定審議会が開催される年でございます。日本からは 25 の制定案が

上程されるとのことですが、これは R I 理事会や米国を抜いて世界一の提案数であり、その関心の高さが窺い知れる事象でございます。S R F (Shaping Rotary's Future) の推進や、ローターアクトクラブの規定審議会における立法権や決議案提出権の承認など、非常に興味深い案件が提出されると聞いております。今後のロータリーの方向性を見極める上でも、大いに注視してまいろうではありませんか。

最後に、私は現在、地区のロータリー情報委員長を務めております。私なりにまとめた情報を皆様にお伝えできればと考えておりますので、是非、卓話等でお招きいただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

平和構築と紛争予防月間に向けて

ロータリー平和フェローシップ委員会 委員長 佐野正子（浦安 RC）

私は昭和 32 年東京都中央区新富町で生まれました。第二次世界大戦の爪痕もない街で両親に溺愛され女の子は政治的な思想を持たず白い気持ちのままに嫁ぐという両親の昔気質の考え方に何の疑問も持たず学生生活を謳歌しました。

父も主人もロータリークラブ会員としてささやかな活動を終え他界後に私は浦安ロータリークラブに入会致しました。四つのテストに心をうたれそして社会奉仕が 60 歳を過ぎて 1 番自分に身近に思っていた頃に財団平和フェローシップ委員として活動することを勧めていただきました。

私は作家山崎豊子さんの二つの祖国という小説に強い感銘と衝撃を受けており広島に詳しい同級生がいたこともあり平和とは何か、原子爆弾は何故広島と長崎に投下されたのか、戦前戦後、開戦終戦についての日本国民の立ち位置についてとても興味を持ち文献を読み漁りました。そして思うことはロータ

リークラブ財団平和フェローにおいてささやかではあっても平和のための心のレクチャーを日本人の一人としてお預かりする外国人フェローの学生さん達に体験して頂く活動をしていきたいということでした。平和フェローの学生さん達は彼等の本国での職業を退職して難関を突破して ICU において平和や紛争についての学習をし卒業後は世界各国で平和や紛争を解決する導きをしてくださるはずです。そして唯一の被爆国としての日本国の復活とプライドを体感していただくことのお手伝いをさせていただき事こそが活動の醍醐味と自覚しております。昨今においても世界各国では戦争になりそうな紛争も絶えず弱者の涙を映像で見る度に堪えきれない心の痛みを感じておりますが今迄の我々ロータリアンの平和フェローシップにおける活動を更に推進していただけることを切にお願い申し上げます。

第 2790 地区 三大セミナーのご案内

2022-23 年度 地区幹事長 織田信幸（松戸 RC）

新年明けましておめでとうございます。

2022-23 年度地区幹事長を務めることになりました織田信幸です。どうかよろしくお願い申し上げます。

漆原ガバナー年度、梶原ガバナー年度と 2 年間に亘りコロナ禍に依る影響でセミナー、行事等はことごとく縮小開催やリアルとリモートの併用開催、インターネット配信等と正常な形での開催には程遠い状態で進められてきましたがここに来てようやく正常な形での開催の展望が見えてまいりました。とは言え、それはわたくしがこの原稿を書いている今（11 月 30 日）の話であって果たしてこの月信が皆様の手に届く 1 月にはどのような状況になっているのか全く不透明であります。

ただただ、with コロナの時代を克服し 2022-23 小倉ガバナー年度での公式行事等が 2 年間の鬱憤を晴らし全てが正常に開催・運営されることを願うば

かりでございます。

さて、新しい年 2022 年を迎え本年 7 月からスタートいたします小倉ガバナー年度に向けた三大セミナーが小倉ガバナーエレクト主管の下、2 月から 4 月にかけて開催されます。

セミナーに先立ち 1 月 16 日から 20 日に亘り、小倉ガバナーエレクトが米国フロリダ州オーランドにおいて開催されます国際協議会出席のために渡航されます。（※新型コロナ感染状況に依ってはリモートでの参加）

セミナーでは 2022-23 年度の RI テーマを携え皆様にお会いすることになりましょう。どうぞ楽しみにしてしてお待ちください。

日程等については下記に表を載せましたのでご参照ください。

末筆になりますが、新しい年を迎え皆様のご健勝と事業のご発展を心よりお祈り申し上げます。

日 付	曜 日	名 称	時 間	開 催 場 所
2022 年 2 月 26 日	土	地区チーム研修セミナー	13:00 ～	ホテル・ザ・マンハッタン
2022 年 3 月 12 日	土	会長研修セミナー 1 日目	13:00 ～	ホテル・ザ・マンハッタン
2022 年 3 月 26 日	土	会長研修セミナー 2 日目	13:00 ～	ホテル・ザ・マンハッタン
2022 年 4 月 29 日	金・休	地区研修・協議会	10:00 ～	東京ベイ幕張ホール

第1・2グループ ロータリー情報研究会

第1グループガバナー補佐 佐藤孝彦 第2グループガバナー補佐 小石裕久

2021年11月4日(木)13時点鐘 船橋商工会議所とZoomによるハイブリッド開催。ホストクラブは船橋西RC、浦安RC。

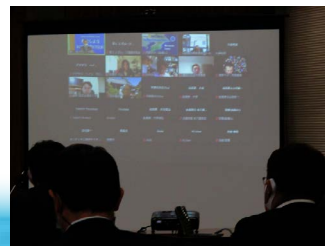
第1部では地区職業奉仕委員長、青木忠茂様に卓話を頂き、第2部では第1・2グループの12クラブから「私の仕事とロータリー」について発表が行われ、最後に青木委員長、梶原ガバナーから講評をいただいた。各クラブからフィードバックレポートを頂きPDFにまとめて配信した。

地区職業奉仕委員長、青木忠茂様卓話要旨「市川船橋戦争と米山梅吉の係わりを探る」徳川時代幕末から明治維新にかけて戊辰戦争が起こった。徳川15代将軍慶喜が江戸城を4月に無血開城した後の閏4月、旧幕軍と新政府軍の間で市川・船橋が戦場となった戦いがあった。旧幕府軍は船橋大神宮を本営とし、その隊長をのちの江原素六、(鑄三郎)が務めた。戦いでは旧幕軍が敗退して、船橋では864件、市川では127件が焼きだされ、素六は瀕死の重傷を負ったが、村人たちの手厚い看護を受け、奇跡的に助かり江戸に

逃れた。焼きだされたにもかかわらず、村人たちは亡くなった新政府軍、旧幕軍の戦士を公平に祀った。このことは素六の後の人生に大きな影響を与えた。

その後、素六は、沼津兵学校の地に建てられた沼津中学校の校長となった。12歳で米山家に養子となった米山梅吉は、素六が校長であった沼津中学校に入学し、市川船橋戦争、素六が使節として派遣されたアメリカの事、素六が洗礼を受けたプロテスタント、メソジスト派の基督教の事、その他事業、政治、経済等の話から多大な感化を受けた。梅吉は米山家に黙って東京に家出し、東京のメソジスト派の東京英和学校で学び、米山家と復縁して渡米し、メソジスト派の寄宿舎に滞在しながら多くをアメリカで8年間学んだ。全てが素六の教え、係わりがあったものと考えられる。

梅吉は帰国後結婚し、三井銀行に入社している。梅吉のロータリーとの出会い、奉仕することの大切さに目覚めるきっかけは素六との係わりが大きく、素六は多岐にわたり梅吉の生涯に影響を与えていたと考えられる。



第3・4グループ ロータリー情報研究会

第3グループガバナー補佐 清田浩義 第4グループガバナー補佐 中島東一

第3グループ、第4グループ合同のロータリー情報研究会が、11月13日(土)三井ガーデンホテル千葉にて、午後1時から開催されました。コロナ感染症対策として、会場には両グループのクラブ会長、幹事にご参加いただき、各クラブの会員皆様には、入会歴の浅い方を中心にZoomオンラインでご参加いただきました。

当日のテーマは「職業奉仕」でした。プログラムとしては、まず梶原ガバナーにご挨拶をいただいた後、鶴沢ガバナーノミニより「職業奉仕：自分なりに職業奉仕を表現する」と題し基調講演をいただきました。職業奉仕について、様々な視点(職業奉仕についての歴史的背景、日本独自の職業奉仕感、奉仕の理念など)でお話をいただき、非常に興味深い内容だったと思います。その後、休憩をはさみ、「職業奉仕」について第3グループ、第4グループからそれぞれ3名のパネリスト(会長、幹事)にご登壇いただき、パネルディスカッ

ションを行いました。基調講演の感想やパネリスト皆様の職業奉仕感について、またロータリーの大事な価値観について、貴重なお話をいただきました。

今回のロータリー情報研究会は「職業奉仕」について入会歴の浅い会員を中心に、それぞれの理解を深めていただくことがテーマでありましたので、各クラブ会員皆様にはオンラインで会場の皆様とコミュニケーションをとっていただきました。オンラインでの皆様の声には「奉仕をする人がロータリアン、との言葉に感銘を受けた」「職業奉仕を通じて世の中に役に立っているのだ」「地域奉仕は職業奉仕と直結する」「職業奉仕とは何か悩んでいたが、気づきが生まれた」など数多くの貴重なご意見をいただきました。午後4時、第4グループ中島ガバナー補佐の点鐘にて閉会となりました。

https://youtu.be/_qTv-eC1B44



第5グループ ロータリー情報研究会

第5グループガバナー補佐 鈴木荘一

第5グループでは11月12日にかずさアカデミアホールにてロータリー情報研修会をハイブリッド形式で開催しました。第5グループに所属する各クラブの会員皆様、山田修平パストガバナー、第6グループの亀田美穂ガバナー補佐はじめ、多くの皆様にご参加、ご視聴頂きました。またホストクラブの君津RC岡野祐会長はじめご準備あたり関わった皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

ゲストスピーカーには第2590地区ロータリー財団副委員長の鈴木慎二郎様をお迎えし、「DLP・CLPへの取り組み/財団・米山への寄付推進への挑戦」という題でお話し頂きました。寄付額がすべてではありませんがロータリー財団、米山奨学会への寄付額が日本でも随一を誇る第2590地区の取り組みの内容は各クラブの皆様大変参考になったと思います。なかでも理念の共有、丁寧な説明、相互理解、など組織をスムーズに運営していく要諦や、ロータリー財団、米山奨学会への寄付額そして各事業に対する理念の共有など大変参考になる90分でした。本研修会の報告も冊子にて第5グループ会員皆様全員にお配りさせて頂くとともに、WEB上においてもYouTubeにて視聴できますので、ぜひ視聴してください。

折しも梶原年度も折り返し地点を迎えようとしています

が、卓話の中でもありましたが、各クラブの皆様には地区の当初のロータリー財団、米山記念奨学会の一人様様の平均寄付のお願い事項、そして地区委員の選出、RLIへの参加のお願い等各クラブ皆様をお願いする格好の機会にもなりました。

本年度梶原等ガバナーが掲げている複数グループ主催での開催には至りませんでした、下期に開催予定の会員基盤向上セミナーにおきましてはグループの枠を超えた集いが開催実現できるように取り組みます。

当初ご講演頂く予定で健康上の理由でご参加できなかった第2590地区の轟淳司パストガバナーにも情報研修会の準備の段階で大変誠意のこもったご対応を頂きました。DLP・CLPの取り組みは未来に向けての改革的な取り組みであります、当グループ会員皆様にとって本研修会がロータリアンとしての振る舞い、奉仕・寄付への取り組み、ガバナー補佐の選出問題、地区再編など、ロータリーにとって地域社会の一員として“真剣に残していくもの”を再確認させて頂くきっかけになれば幸いです。引き続き変わらぬご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。ましてご報告とさせていただきます。

<https://youtu.be/O3WD6OdZJ14>



第6グループ ロータリー情報研究会

第6グループガバナー補佐 亀田美穂

開催日 2021年11月19日(金) 14時点鐘～16時まで
開催場所 ホテル鴨川館

参加人数 主催者、来賓、講演者等含め60名ほど

梶原ガバナーより「ロータリーで輝くために」～SERVICEとはすべての活動における根底にあるもの～をテーマとして頂きました。

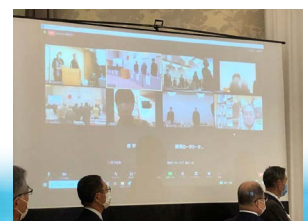
今年度のロータリー情報研究会は当初は第5グループとの共同開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて第6グループ単独での開催となりました。また、感染対策の一環として第6グループ内各クラブからの会場への出席人数を制限し、会場へ来ることができない会員の皆様の為にYouTube配信を取り入れたハイブリット形式で執り行いました。更には情報研究会の模様をDVDに記録し、後ほど各クラブと関係者各位へ届ける予定になっております。

当日は第5グループガバナー補佐の鈴木荘一様に第5グループを代表してご参

加いただきました。今年度地区研修リーダーの宇佐見透PGに情報研究会の主旨説明をお願いし、地区職業奉仕委員会より清水隆様と高橋潤一様のお2人に卓話をお願い致しました。卓話内容は、「クラブ活性化と職業奉仕」についてです。ロータリーの歴史から始まり、職業奉仕の現在の状況、会員増強のお話は、会員年数の浅い会員だけではなく、ベテラン会員の皆様にとっても有意義な内容でした。

卓話後の質疑応答では多くの会員の皆様からの質問があり、時間の許す限り宇佐見研修リーダーがお答え下さいました。

今回の情報研究会は制限が多く、また2時間という短い時間ではありましたが、会員の皆様にとって充実したものになりました。



第7・9グループ ロータリー情報研究会

第7グループガバナー補佐 秋葉芳秀 第9グループガバナー補佐 白鳥晴嗣

令和3年11月16日（火）、九十九里町にあるサンライズ九十九里にて14時から情報研究会を開催しました。第7グループと第9グループとの共催、且つハイブリッド方式での開催であり、会場には地区研修リーダーの宇佐見透氏及び両グループの会員六十数名が参加下さった。両グループの会長・幹事及び会員皆様のご協力に感謝しております。

講師の高橋宗寛氏は香取市大崎の臨済宗・妙性寺住職であり、「コロナ禍の下での職業奉仕の実践」というテーマで約2時間のご講演をお願いしましたが、テーマの中の「コロナ禍の下」という言葉は全く不要であり意味が無かったようです。

講師のお話は、人生に於ける「出会い」の偶然と必然、そして「邂逅」という精神的に高い世界にまで導いてくれた松原泰道氏との出会いを、ご自身の経験を通して全身全霊でお話下さいました。松原泰

道氏は「般若心経入門」という記録的ベストセラーを書いた禅僧で、私も昔読みました。講師は落語の手法を用い、聞き手に合わせ、「まくら」で引き付けたところで本題に入っていく古典落語の「人情噺」そのものでした。講演会終了後、講師は私に、「正直言って難しいテーマであり、皆さんの前で話すことは苦しかった。しかし、あるがままの自分で正直なお話をさせていただきました」と告げられました。

禅僧としての職業奉仕と私達ロータリアンの職業奉仕は当然違いますが、根底に共通している論理は「自分自身の脚下を見る」ことだと語っていただきました。

講師の高橋宗寛氏に感謝しております。

<https://youtu.be/I2fM4gdmwsl>



第8グループ ロータリー情報研究会

第8グループガバナー補佐 神崎薫

日時/11月7日（日） 点鐘 13:30

会場/旭市商工会館 3階

参加人数/46名

11月7日のロータリー情報研究会の開催は鶴沢和広ガバナーノミニーを講師にお招きして開催いたしました。

グループ再編の問題が有り、第8グループは単独で開催する事に致しました。

梶原ガバナーよりロータリーで輝くためにSERVICEとはすべての活動における根底にあるものをテーマに 分り易くお話を頂き、多くのメンバーが、良く理解できたと納得されておりました。グループ再編の問題について、補佐として一番大きな問題で、就任後、再編の移行にむけて各クラブに

経過説明と地区の再編への方針をご理解いただくべく努力してまいりました。

再編については鶴沢ガバナーノミニーにご説明頂きたく講師をお願いした次第です。

先月、地区グループ再編会議からの報告が届きました。今までの経緯について、詳しくご説明を頂き、良く理解されたと思います。現在のグループの編成は基本的に変更しないむねのお話が有り第8グループ第9グループ統合の方向も、再度各クラブの意向を確認する事が必要となり、会長幹事会にて報告を頂く事となります。

担当補佐として、もめることなく、補佐ノミニーの選出が進むことを願っています。



第10グループ ロータリー情報研究会

第10グループガバナー補佐 堀口路加

11月11日（木）ANAクラウンプラザホテル成田を会場に、第10グループ内6クラブの入会3年未満の会員と会長・幹事、来賓として諸岡靖彦パストガバナー（成田RC）をお迎えし、合計32名の会員が集う情報研究会を開催しました。

まず成田コスモポリタンロータリークラブの青木貞雄パストガバナーから「日本のロータリーと職業奉仕について」と題する講演がありました。ここ数年、米国や日本のロータリークラブの会員数が減少する一方、インド、台湾、韓国ではクラブ数も会員数も増加していること、会員資格要件、例会のオンライン導入、例会運営規定、メークアップ対象期間の弾力化、同一業種会員の人数制限撤廃、ローターアクトクラブのメンバー化など多くの改革が実施される中で、職業奉仕に対する考え方がどのように変わってきたかが話されました。

二つ目の講演は、富里ロータリーク

ラブの寒郡茂樹ガバナーノミニ・デジグネートによる「最近のロータリー情報」と題する講演で、日本のロータリークラブの考え方だけではなく、RIの様々な改革の中で、いろいろな意見が戦わされ、世界のロータリークラブがどう動いているかという視点の大切さ、そしてSRF（ロータリー未来形成）に見られるようにこれから大きく変わっていくとしているRIの背景や考え方について語られました。

ロータリーを取り巻く社会状況はコロナ禍を通して変化しています。こうした変化の中でやはりロータリアンとして、ロータリーについての正しい理解と知識を持ち、ロータリーも変化していることを知る機会は大切であることを実感した情報研究会でした。



第11・14グループ ロータリー情報研究会

第11グループガバナー補佐 佐々木るみ子 第14グループガバナー補佐 平井賢俊

令和3年11月11日（木）に第2790地区 第11グループ・第14グループ合同による地区情報研究会をザ・クレストホテル柏にて午後3時より開催致しました。全会員の参加による開催を目指し内容を検討しておりましたが、コロナの状況を鑑み、会場での参加者を10クラブの今年度及び次年度のクラブの会長・幹事等、約50名に限定し、会場に参加出来ない多くの会員の方々にはZoomを使用し開催させて頂きました。第1部の基調講演では「ロータリーの次の時代を語る 奉仕の理念と実践のバランス」と題し、鶴沢和広ガバナーノミニに基調講演を頂きました。ロータリーの歴史や目的そして奉仕という考え方全般についての内容で、ロータリーを改めて考える切っ掛けを頂きました。第2部では「ロータリーで輝くために」をテーマにグループの

垣根を越えて8テーブルに分かれディスカッションを行い、最後にテーブルの代表者に職業奉仕に対する考えを発表して頂きました。また、Zoomで参加された会員の方々に対しては、佐々木ガバナー補佐を中心に職業奉仕について話し合いを行って頂きました。この模様はUSBメモリーに保存し各クラブにお配りし、各クラブにて活用して頂ければと思っております。全ての会議が終了した後、会場に参加された方に対しは懇親会を開催し、全員に「わがクラブの自慢」を語って頂き親睦を深めました。

今までにない形式での開催となりましたが、多くの方が思い思いの考えを忌憚なく話し合い意見をまとめて頂きました。当会が会員の皆様にとって有意義であった事、そして開催にあたり会員の皆様のご協力に感謝申し上げ、報告とさせていただきます。



第12グループ ロータリー情報研究会

第12グループガバナー補佐 山本美代子

コロナウイルス感染が落ち着き、無事に第12グループ単独での情報研究会を終える事ができました。

当初は、コロナウイルス感染が心配でしたので、2時間の時間で考え会場を抑えました。

内容としましては、崎山パストガバナーに職業奉仕、DLP、CLPのご講演を頂き青少年奉仕委員会、

地区学友会の井上大輔委員長に、今年3月に行ったチャリティーコンサートを報告して頂き、そして現在の取り組みを報告して頂きました。

第12グループには、米山奨学生が2名いますので、ご紹介方々将来の夢をテーマに発表して頂きました。

イーコンさん(中国・習志野中央ロータリークラブ)、アリエムディイマラナさん(バングラデッシュ)佐倉ロータリークラブ、質問など取り入れながら和やかに発表して頂きました。

第12グループの皆様と情報共有をして、横のつながりを強化したいと思い、内容が盛り沢山になりました。

11月13日土曜日、ウイシュトンホテルユカリにて98名の会員が集いました。

コロナ禍の中、大勢の方々にお集まり頂きました事に心より感謝申し上げます。



寄付者紹介 (敬称略)

ロータリー財団寄付

メジャードナー



長田 研自
(千葉 RC)



遠藤 章雄
(八千代 RC)



寒郡 茂樹
(富里 RC)

マルチプル・ボール・ハリス・フェロー



堀内 正一
(木更津 RC)
9 回目



鈴木 桂三
(柏西 RC)
8 回目



榊 隆夫
(柏西 RC)
8 回目



日暮 肇
(柏西 RC)
8 回目



佐野 忠信
(八千代 RC)
7 回目



小石 裕久
(船橋西 RC)
5 回目



村島 義則
(成田コスモポリタン RC)
5 回目



宇都宮 高明
(成田コスモポリタン RC)
4 回目



牧野 吉晃
(上総 RC)
3 回目



鶴野 航三
(八日市場 RC)
3 回目



檜垣 昌宏
(市原 RC)
2 回目



荒木 行雄
(袖ヶ浦 RC)
2 回目



足立 俊夫
(茂原 RC)
2 回目



杉本 禧夫
(茂原 RC)
2 回目



山田 則彰
(茂原 RC)
2 回目



井上 峰夫
(八日市場 RC)
2 回目



小川 不二夫
(八日市場 RC)
2 回目



高宮 幸子
(船橋西 RC)
1 回目

新ボール・ハリス・フェロー



鵜澤 宜広
(八日市場 RC)



松井 茂樹
(松戸東 RC)

新ベネファクター



酒井 秀光
(茂原 RC)



川口 京子
(八日市場 RC)

ポリオ・プラス



檜垣 昌宏
(市原 RC)

恒久基金



飯島 俊一
(袖ヶ浦 RC)

米山功労者



平野 弘和
(木更津 RC)
11 回目



織田 信幸
(松戸 RC)
10 回目



秋葉 幸男
(茂原 RC)
8 回目



三枝 巖
(茂原 RC)
8 回目



椎名 博信
(習志野 RC)
7 回目



大川 吉美
(松戸 RC)
7 回目



小倉 純夫
(松戸 RC)
6 回目



常盤 映彦
(松戸 RC)
6 回目



星本 慎児
(鎌ヶ谷 RC)
5 回目



加藤 仁
(館山 RC)
5 回目



渡邊 敏美
(八千代 RC)
5 回目



栗原 稔
(八千代 RC)
5 回目



松戸 英雄
(八千代 RC)
5 回目



川名 光俊
(館山 RC)
4 回目



鎌倉 康裕
(松戸 RC)
4 回目



山崎 克哉
(市原 RC)
3 回目



澤田 めぐみ
(茂原 RC)
3 回目



檜垣 昌宏
(市原 RC)
2 回目



福原 義一
(市原 RC)
2 回目



宮 武 淳
(市原 RC)
2 回目



小林 剛
(館山 RC)
2 回目



石塚 修
(茂原 RC)
2 回目



嶋田 英明
(柏西 RC)
2 回目



葉山 哲夫
(八千代 RC)
2 回目



忍足 正彦
(館山 RC)
1 回目



渡辺 智志
(茂原 RC)
1 回目



吉田 朋令
(柏西 RC)
1 回目



植村 正徳
(八千代 RC)
1 回目



篠宮 功
(松戸 RC)
1 回目



佐川 清
(松戸 RC)
1 回目



森正 浩造
(松戸 RC)
1 回目

新ロータリアン（敬称略）



椿山 英敏
(浦安ベイ RC)
医療機器販売
4 月 8 日



猪股 恒志
(浦安ベイ RC)
建設業
4 月 8 日



勅使河原 要
(浦安ベイ RC)
ビルメンテナンス
5 月 6 日



尾形 由美子
(浦安ベイ RC)
飲食業
5 月 6 日



細田 伸一
(浦安ベイ RC)
市議会議員
7 月 1 日



鈴木 悟志
(浦安ベイ RC)
ホームページ制作業
7 月 1 日



高橋 洋平
(浦安ベイ RC)
弁理士
10 月 7 日



守屋 雄介
(船橋西 RC)
警備業
10 月 14 日



新田 信行
(千葉 RC)
大学
10 月 18 日



中村 一貴
(佐倉 RC)
自動車販売
11 月 3 日



工藤 守利
(銚子 RC)
スタジオ経営(ラジオ局)
11 月 10 日



廣田 光司
(千葉 RC)
国際奉仕団体
11 月 15 日



小川 剛
(千葉幕張 RC)
保険代理業
11 月 16 日



稲垣 有治
(新千葉 RC)
証券業
11 月 17 日



楠野 和幸
(松戸 RC)
都市銀行
11 月 17 日



奥山 栄臣
(千葉 RC)
建築
11 月 22 日

物故会員（敬称略）



小島 達徳（市川 RC）
逝去日：2021 年 10 月 27 日
(享年 90 歳)
ロータリー歴：1978-79 クラブ会長
1987-88 地区 R 財団委員長



金見 和子（木更津東 RC）
逝去日：2021 年 11 月 6 日
(享年 73 歳)



鈴木 秀承（鎌ヶ谷 RC）
逝去日：2021 年 11 月 7 日
(享年 87 歳)
ロータリー歴：1985-86 クラブ会長
1995-96 第二分區代理



榎本 洋史（柏西 RC）
逝去日：2021 年 11 月 27 日
(享年 79 歳)
ロータリー歴：1997-98 クラブ会長

